

1976—1977

委員会活動方針



鹿児島西ロータリークラブ

あ い さ つ

会 長 岡 元 健 一 郎

1976-77年度の鹿児島西クラブの会長に選出されましたが、その重責にとまどっています。会員の皆様の御支援と御協力により当クラブのよき伝統を活かして今後の一年間を一生懸命つとめたいと思いますので宜しくお願い致します。

マンチェスターRI会長の「奉仕—ロータリーを私は信奉する」塘地区ガバナーの「奉仕の理解と実践のためのロータリー情報の徹底普及。青少年奉仕の推進」という指導方針が勿論本年度の方向になりますが、クラブはRIの基本的構成単位であり、RI会長、GDの指導方針を推進するためにも、クラブの存在をますます確実にする必要があります。その方法はロータリーの基本理念を理解し実践することで、まず「出席、親睦、ロータリー情報、会員増強」の4点が基本であろうかと思えます。すべての奉仕活動の源はここから出発するものと思えます。つまり本年度も当クラブは従来のよき伝統を引ついだロータリーの基本に樹った発展に向って皆様とともに進みたいという気持ちを申し上げてご挨拶とします。

あ い さ つ

幹 事 中 村 善 治

会長を輔けて、当クラブの持つ善い特性の助成に努め度と思えます。

1. 奉仕活動をより一層推進する為「進んで参加する」のムードを作り度と思えます。
2. クラブから始めてガバナーが出られましたのでホームクラブとして物心両面に亘る応援をしたいと思えます。
3. 新たに当クラブ独自のローターアクトクラブが誕生しましたので、既成

のインターアクトクラブ同様健全なる成長をする様配慮したいと思います。
本年度は交換学生の受入れ等でも格別の御相談を申し上げることになると思
われますが、御理解の上御協力下さいます様御願い申し上げます。

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会 活 動 方 針

副会長 河 井 時 義

1. 基本方針

クラブ奉仕として知られている「奉仕の機会として知り合いを拡める」と
いうことを助成する各種委員会の仕事が、円滑に運営される様に配慮する。
そのため ① 各種委員会との連絡を密にし、その奉仕活動に協力する。
② 会員の親密な融和を得る様に努める。

2. 計 画

- ① 必要の都度クラブ奉仕部門の各委員長の協議会を開催する。
- ② 会長幹事と協議の上、年度計画表を作成し、各委員会の円滑な運営を図
りたい。
- ③ ビジターとの接触を深めて知り合いを拡める様に留意する。

あ い さ つ

会 計 有 村 良 男

前任者の後を引継ぎ、毎月1回会計検査を厳正、確実に行い任務を完全に実
施し、来期初めに報告をします。

S・A・A 委員会活動方針

委員長 内山光男
川畑正美

1. 基本方針

例会の準備，進行，秩序維持等に気を配り，例会の円滑な運営と例会を愉快なものにする。

2. 計 画

- (1) 会場の楽しいふんいき作りに努力する。
- (2) 親睦委員会と連絡を密にして，又会員の方々のアイデア，御意見等を取り入れる様努力する。
- (3) 特に座席の配置については委員会別，趣味別，年代別等を取り入れてみたい。

出席委員会活動方針

委員長 川田恵一
池田 広
田原迫卓視
二階堂 正明
徳留 栄次

希望予算額 170,000円

1. 基本方針

本クラブの伝統である輝かしい出席率の維持に努力する。又各種会合への出席を奨励する。

2. 計 画

- (1) 連続出席者に対する表彰を本年度も引続き実施する。
- (2) 常に出席率を把握し，欠席者への連絡を密にする。
- (3) 新入会員へのP・Rを行い出席を奨励する。

職業分類委員会活動方針

委員長 岩元正二
岡山 栄
若松 宇治彦
中村 俊雄

希望予算額 100,000円

1. 基本方針

- (1) 当クラブ区域の職業分類調査を行う。
- (2) 充填及び未充填の職業分類一覧表を作る。
- (3) 未充填部分については全会員の協力を求めその充填を計る。

2. 計画

- (1) 当クラブ区域内のいろいろな事業所及び専門的職業を調査すると共に区域外の事業所についても、その住所が当クラブ区域内にある人々の職業分類についても調査する。
- (2) 充填及び未充填職業分類表はクラブ全会員に配布し、未充填部門について認識を深めてもらう。
- (3) 未充填部門については特に会員増強委員、会員選考委員会の全面的協力を求めたい。

会員選考委員会活動方針

委員長 外西寿彦
桜美義明
福田敏之
山本友博
藤安辰造

希望予算額 2,000円

1. 基本方針

推せん者の意志を尊重したいが、職業上ならびに社会的評価の高い人で、

ロータリーを理解でき、出席可能な奉仕を實踐できる人を選考し理事会に報告したい。

とくに地区大会のホストを控え若年層会員の増加を期待したい。

2. 計 画

退会者を考慮に入れ、最低10%の新会員入会を考えている。

会 員 増 強 委 員 会 活 動 方 針

委員長 田 平 礼 章

徳 沢 紀 生

希望予算額 2,000円

鮫 島 志芽太

徳 田 基

新 原 剛

1. 基本方針

当クラブが益々発展するようにクラブの目的をよく理解し、良く活動していただける会員を増強したい。

2. 計 画

年間会員増加目標を10%とする。

プ ロ グ ラ ム 委 員 会 活 動 方 針

委員長 岩 元 基

原 三 郎

希望予算額 80,000円

牧 田 健 二

川 村 洋

佐 伯 延次郎

1. 基本方針

① 例会がロータリーの奉仕活動にふさわしいものとなるようにプログラムを組み立てたい。

② プログラムの内容はロータリーの理解と活動に少しでも役立ち、会員の親睦をより深める様配慮したい。

2. 計 画

① 会長、幹事及び各委員会のご協力を得て、奉仕活動や、その解説等についてのプログラムを増やしたい。

② 会員特に新会員の職業、趣味、経験等の紹介をより多くお願いしたい。

③ 会員のアドバイスを受けて、広く地域社会を知り、より楽しい例会となるような卓話の開発に努める。

広 報 委 員 会 活 動 方 針

委員長 林 幸 光
小 山 幸 義
新 福 栄 熊
光 吉 正 昭

希望予算額 60,000円

1. 活動方針

ロータリーとしての広報活動についてはロータリー各相互間の広報活動に力を注ぐとともにロータリーについての一般認識のうすい人の多い現状にかんがみ、クラブの使命とその活動方針についての認識の徹底をはかるよう立案実行したい。

2. 計 画

(1) 広報関係者との会合を催し、広報機関を通じてロータリークラブの認識を一般人に認識してもらうようにしたい。

(2) 県下及び九州地区の広報関係者に当クラブの活動を理解してもらうために南の風にその情報を提供したい。

親睦委員会活動方針

	委員長	海老原 利 則
		徳 家 孝, 高 妻 俊 則
希望予算額		橋 口 十 蔵, 篤 辰 雄
1,350,000円		高 橋 司, 吉 田 憲 一
		土 橋 滋, 尾 辻 省 悟

1. 基本方針

親睦の原点を意識し、出席と奉仕をより助長し、且効果的ならしめるよう運営することを基本方針とす。

2. 計 画

- (1) ニコニコ箱の内容に会員の関心を高めると共に自主積極申告を勧奨する。
- (2) 地区大会及その他の会合に役員より出席を依頼され已むなく欠席の場合もニコニコ箱を頂く。
- (3) 誕生祝、結婚祝及連続表彰は従来の倍額以上とする。
(その額は2,000円とする。)
- (4) 婦人部の集いを援助し家族ぐるみの親睦増進を図る。
- (5) 年2回親睦ゴルフコンペを行う。
- (6) 年数回夜の例会を行い盃をあげて親睦の増進を図る。
- (7) 三木会は3ヶ月に1回必ず実施し特に新入会員との交流を図る。
- (8) 当クラブ外特に県外ビジターとの親睦増進に努む。
- (9) 当月の誕生者及結婚記念者に各1名3分間スピーチをして頂く。
- (10) 青少年委員会と提携いしてローターアクト、インターアクトとの親睦交流にも努める。

ロータリー情報委員会活動方針

	委員長	小 池 鉄太郎
希望予算額		下 野 隆 三
200,000円		福 田 正 臣

1. 基本方針

- (1) 会員にロータリーの歴史、綱領及活動についての知識を与える。
- (2) 新入会員にロータリーの目的、特に会員の特典と義務について、「正しい」ロータリーの知識を与える。
- (3) 会員に国際ロータリーの運営方法について知らせる。

2. 計 画

- (1) 新入会員に対し、会員の特典、義務等を知らせ、その理解を計る。
(固くならない形において)
- (2) 会報や広報委員会にも連絡をとり、週報の中にロータリーに関する教訓、情報を掲載し、その知識普及に努める。
- (3) プログラム委員会とも連絡を取り、卓話の中にロータリー情報に関するものいくつか織りこんで頂く。
- (4) 例会時、時を見て3分程度のロータリー情報に関する話しを、会長、幹事経験者、委員、また会員の方にも指名お願いする。
- (5) ロータリーに関する書籍を事務所におき、随時閲覧できるようにする。
- (6) 「ロータリークラブその理論と実態と批判」……小堀憲助著 ￥700
お持ちない方には購入方おすすめする。

会 報 雑 誌 委 員 会 活 動 方 針

委員長	川 上 鉄太郎
	高 井 敏 治
	岩 元 健 吉
	岩 田 太 一
	岩 元 紀 彦
	池 田 稯

希望予算額 464,000円

1. 基本方針

- (1) 会員が興味をひきおこすような、読み易い、親しみ易い、充実した内容

を週報にのせたい。

- (2) 会員の親睦と、出席の増進を計れるような編集をしたい。
- (3) 会長、幹事および広報、情報両委員長はもとより、各委員長と連絡を密にして、効果ある週報としたい。

2. 計 画

- (1) プログラム委員長と常に連絡をとり、卓話の予告および卓話の要旨を週報にのせる。
- (2) ロータリー情報委員長と連絡をとり、ロータリー情報に関する記事あるいは、ロータリー教育に寄与する記事を週報にのせる。
- (3) 例会および各種クラブ活動、ロータリーの友、ガバナー通信等の重要記事を週報にのせる。
- (4) 欠席者への週報配布は従来どおり、袋に入れて準備しておき例会出席の際に受取ってもらう。

職 業 奉 仕 委 員 会 活 動 方 針

委員長	宇治野 純 章
	山 下 静 雄
	古 木 圭 介
	鍋 島 宏
	前 田 好 文

希望予算額 8 0,0 0 0 円

1. 基本方針

職業奉仕こそ R. C. の最も根本的かつ身近かな理念であること加えて他の奉仕団体にはない理念であることを十分自覚し、この理念を会員は勿論、会員関係職場の従業員、会員の家族等にも理解して貰い、具体的に実行して貰うように努めたい。

2. 計 画

イ、優良職場を訪問し、職業奉仕に関連する見聞を広めたい。

ロ、優良職業人の表彰をする。

ハ、職業奉仕に関連する講演を聞くようにする。

社会奉仕委員会活動方針

委員長 水 洵 清 治

城 哲 男

桜 美 四 郎

久保田 彦 穂

久 保 政 次

永 井 利 承

希望予算額 200,000円

1. 基本方針

当クラブの地域社会になるべく広く、より多く奉仕活動を積極的に推進し実践する。其の為に各委員会と連絡を密にし、個人、団体共に参加行動する、社会奉仕活動を推進する。

2. 計 画

- (1) 青少年奉仕委員会と奉仕活動をテーマに対話集会をする。
- (2) 地域内のきん急災害等に対し、奉仕活動面に於いて対応策を検討し、可能な範囲内で救さい奉仕活動を実践する。
- (3) ローターアクト並にインターアクトの社会奉仕活動に積極的に参加し奉仕活動を実践する。
- (4) 社会救さい事業等に功力援助する。
- (5) ロータリー賞を継続する。

青少年奉仕委員会活動方針

委員長 瀬戸山 勝 資

安楽慶一郎, 中尾正昭, 吉留 益

三角桂次郎, 鮎川六男, 鹿海 武

近藤 典文, 浜田 馨, 柴山一雄

和田 吉人, 佐伯寿郎, 柿内高重

肥後 克郎

希望予算額

1,560,000円

1. ロータリー活動を通じ青少年の健全なる育成教化を計る。これが為に各委員会と強力な連繫をもち、或は合同企画し且又本クラブ会員全員が青少年との交流の機会をもち一丸となって奉仕活動の充実を期す。

2. 計 画

I.A.C. 緊密な連絡をとり年度内行事を企画し援助す。

① 指導教官との話し合いの場をもつ。

② 連絡協議会に出席する。

③ 例会並各種行事に極力招待又は参加し援助す。

(親睦委, 職業奉仕委連繫)

④ 373地区年次大会に参加し援助す。

⑤ 青少年奉仕週間に懸賞論文募集

⑥ 毎月第一日曜日早朝清掃作業奉仕に参加す。

R.A.C. 新クラブに付特に成功発展する様援助指導す。

① 例会2名以上理事会に必ず出席する。

② 卓話者を当クラブ会員を極力推薦す。(各委員会と連繫)

③ 例会及各種行事に極力招待し又は参加し援助す。

④ 373地区年次大会, 幹部研修会に参加し援助す。

⑤ 例会に委員会別の出席及合同例会を計る。(各委員会と連繫)

⑥ 毎月第一日曜日の早朝作業及施設訪問に参加する。

(社会奉仕委員会と連繫)

⑦ 認証式を実のある式典を計る。

青少年野外活動 R.A.C, I.A.C一般青少年合同の活動を企画

- ① 夏季 海水浴
- ② 秋季 オリエンテーリング又運動会 ソフトボール大会
- ③ 春季 新入社員のオリエンテーション

R.A.C, I.A.C.及其の友人 を基幹に広く青少年に呼び掛け、野
RC会員家族及従業社員と友人

外活動企画、実施（親睦、社会、職業奉仕委連繫）

交換学生 本年度本クラブより1名送り出し及受入れに付万全を期す様企
画し援助す。

- ① 受入家庭の選定及全会員の協力援助を期す。
- ② 受入学生に対し物、心両面の充実した配慮
- ③ 例会及各種行事に極力招待又は参加させる。
- ④ I.A.C, R.A.C.との交流を計る。
- ⑤ 婦人部の協力を求める。（生花、お茶、作法等々）
（国際奉仕、親睦委員会と連繫）

特に本年度は新生R.A.C, 単独交換学生受入につき、全会員の強力なる援
助協力を求める。

国際奉仕委員会活動方針

委員長 岩 男 秀 彦
 ジョーンズ・ミッチェル
渡 辺 匡
池 口 恵 観
木 治 屋 克 己

希望予算学 1 0 0, 0 0 0

1. 基本方針

国際理解を深め、親善と平和を増進するための努力を続けて行く。

そのために全会員のご協力を求める様努力致します。

2. 計 画

- (1) 留学生を例会、家族会、観月会などに招待し会員との親睦と相互理解を計ります。
- (2) 国際理解に関する催物を計画します。
- (3) 市内在住留学生への援助を考えていくことに致します。
- (4) 米山奨学生の世話クラブとして当クラブ会員池田 広氏をカウンセラーとし一年間お世話致します。

ロータリー財団委員会活動方針

委員長 平 岡 禎 吉
塘 一 郎
松 田 徳 平

1. 基本方針

ロータリー財団の目的である国際理解と親善友好関係の増進を図るため、次のことを基本事項として活動する。

- (1) ロータリー財団のことをよく知らせ理解してもらうこと。
- (2) ロータリー財団の仕事へ参加してもらうこと。
- (3) ロータリー財団に対する財団支援を奨励すること。

2. 計 画

- (1) 補助金候補者の推薦
- (2) 地区内に留学している他ロータリー財団補助金受領者に我国の理解を深めてもらうためのいろいろな機会の提供。
- (3) ロータリー財団週間(11月15日を含む)の行事参加。
- (4) 百万\$食事、年6回による差額の寄付。
- (5) 800%クラブから900%クラブを目標とし、準フェロー会員の希望を募る。